

エコライフ・フェア 2020 Online 基本方針

1. エコライフ・フェア

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開される様々な環境関連行事の中の主たる行事の一つとして、平成2年以来、環境省、地方公共団体、関連団体、企業、NGO・NPO等が連携し、環境保全全般にわたる普及啓発活動を実施してきているものです。近年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木・イベント広場を会場に開催しています。

2. エコライフ・フェア 2020 Online 開催の基本コンセプト

子供や学生から大人、お年寄りまで、幅広い年齢層の方が、環境問題について楽しみながら学び、体験する場を提供することを通じ、環境問題への理解を深めていただくとともに、日々の暮らしの中で「気づき」から「行動」に移していただくことを目指します。また、普段から環境保全に取り組んでおられる企業・団体等に、そうした取組について発信いただく場を提供します。さらに、実施・運営に当たっては、環境負荷の低減に取り組みます。

エコライフ・フェア 2020 Online は、以下のことを踏まえて開催します。本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催することとします。

「プラスチック・スマート」

海洋プラスチック問題の解決に向けた、個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体による取組を進めるべく、ポイ捨て撲滅を徹底した上で、不必要なワンウェイのプラスチックの削減など、「プラスチックとの賢い付き合い方」を全国的に推進し、国内外に発信します。

「COOL CHOICE（賢い選択）」

2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するため、家庭、業務、運輸など各部門で大幅な削減努力が必要です。特に家庭部門については4割の削減が必要であり、「COOL CHOICE」（賢い選択）を旗印に、日々の暮らし

しの中での地球温暖化対策の取組の選択肢やメリットを分かりやすく示し、取組を幅広く呼びかけます。

「家庭系食品ロス半減に向けた国民運動」

家庭での食品ロスの量を 2030 年度までに半減させることを目指し、日常生活における工夫等を広報していくとともに、市町村による食品ロスの削減に向けた取組を応援します。

「国立公園満喫プロジェクト」

訪日外国人の国立公園利用者を 2020 年までに現在の約 2 倍の 1,000 万人に増やすことを目標に取り組みます。

「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」

森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すことや、一人ひとりが森里川海の恵みを支える社会をつくることを目標にプロジェクトを推進します。

また、これらに加えて、以下のような観点に重点を置いて、環境保全活動の普及・啓発を実施します。

科学的な知見の身近なレベルでの理解

環境問題の科学的・社会的知識を、身近なレベルで理解いただき、より具体的かつ効果的な行動の促進と継続につなげていきます。

環境政策・取組への理解と参加

環境問題の解決に向けた環境政策の必要性や効果について、理解を深めていただき、環境政策や環境保全活動への参加を広げていくことを目指します。また、国、地方公共団体、企業、NGO・NPO、報道機関、研究機関等の幅広いステークホルダーが連携・協力して取り組みます。

被災地復興

東日本大震災をはじめ、近年、地震・豪雨・台風等の被害を受けた被災地の復興・再生のための普及啓発を展開します。

3. 開催概要

タイトル	エコライフ・フェア 2020 Online
開催期日	令和2年イベントは12月19日、バーチャルブースは12月19日から1ヶ月の公開
会場	オンラインで開催
主催	環境省
共催	調整中
協力	調整中
後援	調整中
入場料	無料

4. 内容

(1) 構成

ライブ配信及び、バーチャルブースにおいて企業・団体、NGO・NPO等による活動紹介パネルや事前に収録した普及啓発動画の配信を行います。

(2) 構想している出展内容

) バーチャルブース出展エリア

「プラスチック・スマート」「COOL CHOICE(賢い選択)」「家庭系食品ロス半減に向けた国民運動」「国立公園満喫プロジェクト」「つなげよう・支えよう森里川海プロジェクト」等について、例えば、NGO・NPOについては自らの活動を紹介することにより、企業については自ら行う環境保全活動や、自らが開発や販売している環境にやさしい製品の紹介をすることにより、行政については政策を解説することにより、環境に関する知識、対策や政策、一人ひとりに実践いただくことが望ましい取組等をわかりやすく示し、可能な場合には体験も含め、楽しみながら学べるようなパネル・動画を重視します。

) イベント

楽しみながら幅広い方々に環境問題への理解と取組を促していくため、視聴者に楽しんでいただけるような、著名人のトークショーなどを配信します。内容としては、環境問題に関する知識や一人ひとりに実践していただくことが望ましい取組等を織り交ぜて構成します。

5. その他

(1) 留意事項

SNS等の活用により、事前の告知や当日の様子の発信等を行います。また、エコライフ・フェアの目的や基本コンセプトの達成度合い等を把握し、より効果的な実施を図るため、視聴者アンケート等を通じて、視聴者数、視聴者の属性、視聴した感想等を調査・集計・分析します。

(2) 環境配慮

エコライフ・フェア 2020 をオンラインイベントとすることで、従来の方法で開催した場合に発生する環境負荷（廃棄物の発生、CO2の排出、人が密集することによる感染症リスク等）の低減を図ります。また、動画の事前収録、ライブ配信時など準備段階から開催日までのイベント実施に当たり使用する電気について、再エネ発電由来のJ-クレジットを活用してオフセットすること等により、再エネ電気100%化も同時に達成します。